

行財政改革  
「3つの10%目標」  
公表  
平成8年2月

県民活動サポート  
センター設立  
平成8年4月

かながわ・ゆめ国体  
(第53回大会)開催  
平成10年9～10月

宮ヶ瀬ダム完成  
平成12年12月

かながわボランティア  
活動推進基金21設置  
平成13年4月

県立保健福祉大学  
開学  
平成15年4月



## ①6 第52～53代知事

おかざき ひろし  
**岡崎 洋**

【在任期間】

平成7年4月23日  
～平成15年4月22日

## 神奈川県に生まれ育った知事

- 昭和7（1932）年に藤沢市に生まれ、湘南高校に進学し、東京大学経済学部を卒業後、大蔵省（現在の財務省）に入省しました。昭和59（1984）年に環境庁（現在の環境省）に転じた後、事務方のトップである環境事務次官を務めました。
- 昭和62（1987）年に退官すると、私財を投じて財団法人地球・人間環境フォーラム（現在の一般財団法人地球・人間環境フォーラム）を設立し、理事長として地球環境問題に関する科学的な調査・研究等を推進しました。
- 長洲知事が引退の意向を表明した後、各政党や連合神奈川の推薦を受けて平成7（1995）年に知事選に立候補し、郷土である神奈川県の知事に就任しました。

## 財政危機の中の県政運営

- 岡崎知事の就任時、県財政は、歳入の柱となる県税収入がバブル崩壊のあおりを受けて急減していました。財政危機を乗り越えるため、岡崎知事は事務事業の見直しや、県の職員定数・組織数・県債発行の削減など**徹底した行財政改革を断行**するとともに、知事の給与や退職金も削減して財政の健全化に尽力しました。
- また、施設の整備に当たっては、P F I方式（民間の資金と経営能力を活用して、公共施設等の建設・運営などを行う手法）を活用し、県立近代美術館（葉山）を美術館では全国初となるP F I方式で整備しました。（開設は平成15年10月）
- このほか、N P Oの活動を支援するため、公設公営の施設として全国初となる**「かながわ県民活動サポートセンター」**を設立し、**「かながわボランティア活動推進基金21」**を設置するなど、N P Oと行政の協働・連携を推進しました。